

図41

HIV検査体制
研究班

第16回技術研修会参加施設 全17施設

平成17年10月5日～7日
於国立感染症研究所村山分室

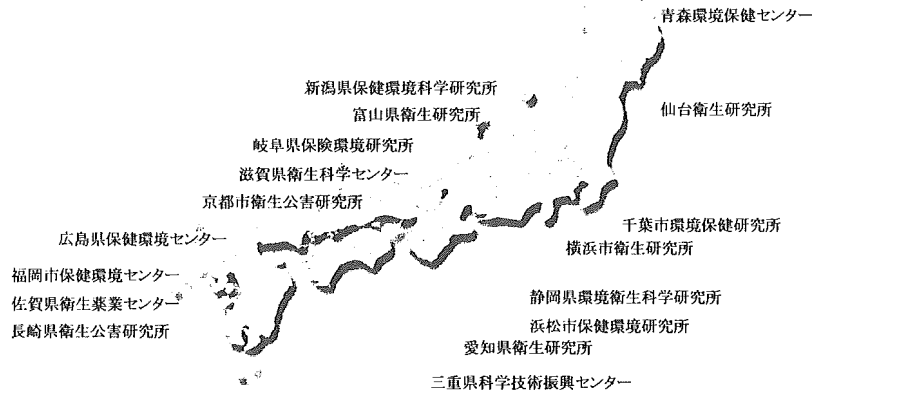


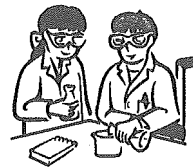
図42

HIV検査体制
研究班

第16回技術研習会プログラム

実習

1. RNA抽出、RT-PCR、nested-PCR
2. PCR産物の確認・精製、シーケンス反応
3. データー回収、薬剤耐性の解析



講義

- | | |
|-------------------------|-------------------|
| 1. 薬剤耐性遺伝子検査 | (国立感染症研究所 西澤雅子) |
| 2. HIV-1の基礎知識 | (国立感染症研究所 松田善衛) |
| 3. 薬剤耐性感受性検査 | (慶応大医学部 加藤真吾) |
| 4. HIV感染症治療と薬剤耐性 | (国立国際医療センター 湯永博之) |
| 5. アフリカにおけるHIV/AIDSの現状 | (国立感染症研究所 石川晃一) |
| 6. 系統樹解析とサブタイピング | (国立感染症研究所 椎野 禎一郎) |
| 7. 遺伝子検査結果の解釈 | (国立感染症研究所 杉浦 互) |
| 8. 即日検査を含むHIV検査に関する情報提供 | (神奈川県衛生研究所 今井光信) |

図43

図1 The strategy for Real-time PCR Amplification

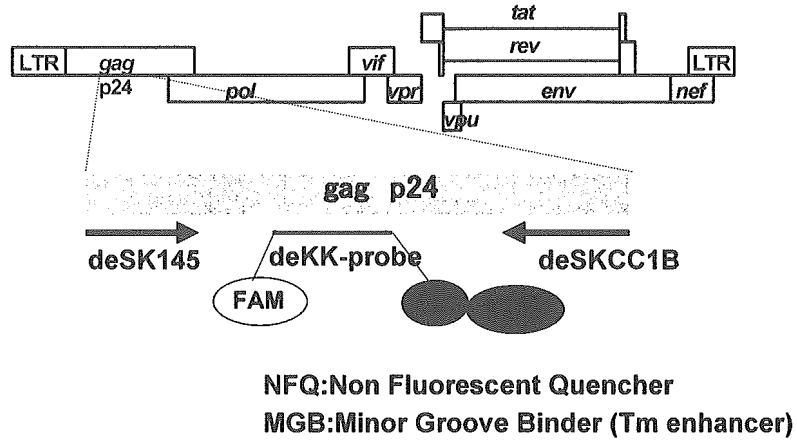


図44

Real-time PCRと限界希釈法(ポアソン分布法)との相関

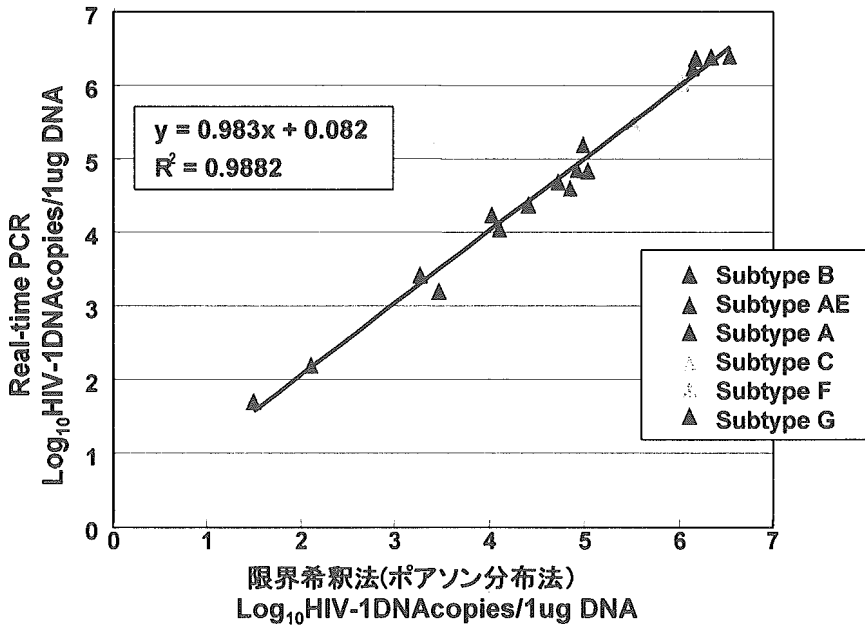


図45

HIV検査体制
研究班

標準法による測定値

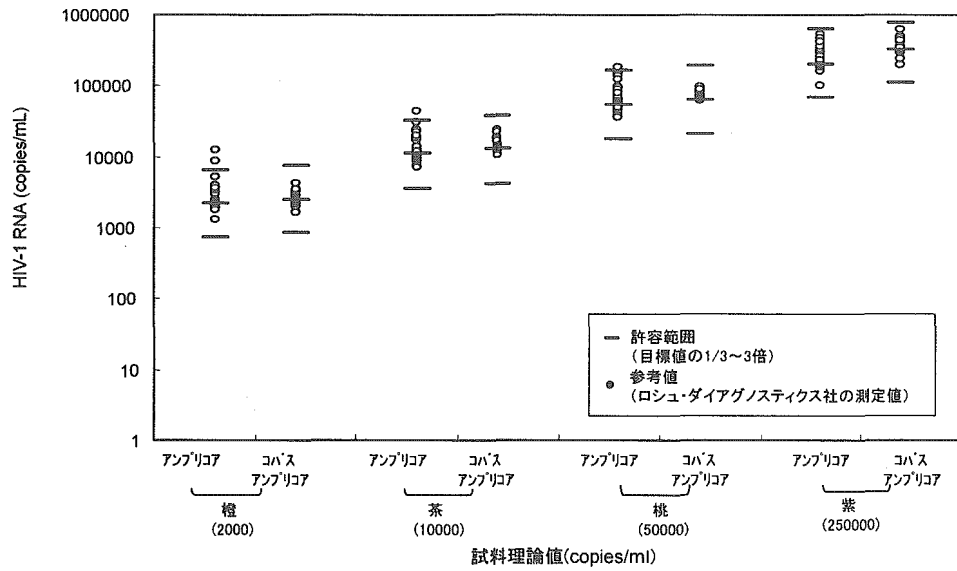
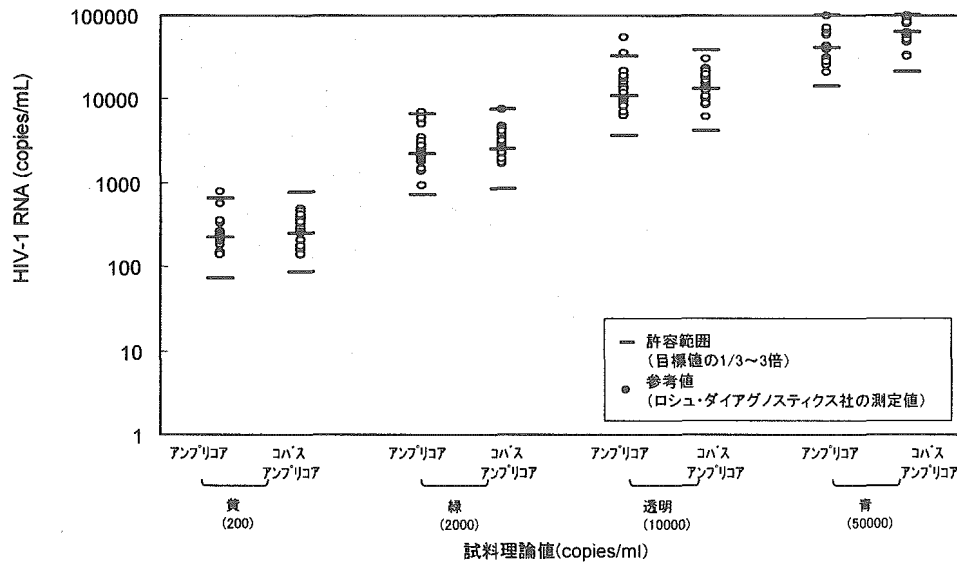


図46

HIV検査体制
研究班

高感度法による測定値



Ⅱ. 分担研究報告

A. より効果的な HIV のスクリーニング検査体制を構築するための研究

- A-1 HIV 即日検査の実施とその普及への試み
 - －ホームページ「HIV 検査・相談マップ」との効果－（嶋 貴子）
- A-2 栃木県南健康福祉センターにおける即日検査と新たな試み（一色ミユキ）
- A-3 北海道における即日検査導入後の検査実施状況（本間 寛）
- A-4 江戸川保健所における HIV 即日検査の導入とその現状（小泉京子）
- A-5 埼玉県における HIV 即日及び休日検査の導入と実施状況（菊池好則）
- A-6 東京都の HIV 検査体制と検査結果の解析（貞升健志）
- A-7 南新宿検査相談室の HIV 検査と検査結果の解析（山口 剛）
- A-8 大阪府の検査体制と検査結果の解析（大竹 徹）
- A-9 北海道における HIV 検査および相談のニーズに関する Web 調査（玉城英彦）
- A-10 福岡県における HIV 検査について（千々和勝己）
- A-11 地域特性を生かした保健所 HIV 検査体制の構築
 - －DEA による保健所における HIV 検査の効率性測定－（河原和夫）
- A-12 日本赤十字社における HIV 対策と HIV 陽性献血者の動向（金光公浩）
- A-13 保健所等 HIV 検査機関における NAT スクリーニング検査の試験的導入（嶋 貴子）
- A-14 保健所等における HIV 即日検査の普及に関する研究（中瀬克己）
- A-15 OTC 家庭用 HIV 検査キットの米国における動向（木村和子）

B. HIV 検査陽性者（感染者）のケアのため

より効果的な HIV のフォローアップ検査体制を構築するための研究

- B-1 各種サブタイプに対応可能な HIV-1 プロウイルス定量法（近藤真規子）
- B-2 CRF01_AE を含む複数のサブタイプの HIV-1 定量法の確立（金田次弘）
- B-3 長期 HAART 施行症例における pDNA の推移とその臨床的意義（吉村和久）
- B-4 非サブタイプ B HIV における薬剤耐性試験と感受性試験のデータの構築について（蜂谷敦子）
- B-5 東海地区における HIV 初感染者の薬剤耐性変異（ジェノタイプ）について（榮 賢司）
- B-6 薬剤耐性変異の解析法の開発・改良・技術研修に関する研究:
 - 薬剤耐性検査の実用化と衛生研究所等への技術移管（杉浦 互）
- B-7 HIV 薬剤耐性検査数および薬剤耐性変異について（アンケートのまとめ）（近藤真規子）
- B-8 HIV-1 RNA 定量キットのコントロールサーベイ（加藤真吾）

A. より効果的な HIV のスクリーニング検査体制を
構築するための研究

A-1. HIV 即日検査の実施とその普及への試み

－ホームページ「HIV 検査・相談マップ」との効果－

| | |
|------------------------|------------------------------|
| 嶋 貴子 (神奈川県衛生研究所) | 清水茂徳 (ライフ・エイズ・プロジェクト) |
| 潮見重毅 (栃木県南健康福祉センター) | 堀 成美 (東京都立駒込病院) |
| 塚田三夫 (栃木県南健康福祉センター) | 角田英久 (ライフ・エイズ・プロジェクト) |
| 一色ミユキ (栃木県南健康福祉センター) | 渡部享宏 (Campus AIDS Interface) |
| 上山 洋 (江戸川保健所) | 工藤伸一 (北海道立衛生研究所) |
| 渡部裕之 (江戸川保健所) | 大竹 徹 (大阪府立公衆衛生研究所) |
| 安成律子 (江戸川保健所) | 澤畑一樹 (三菱化学 BCL) |
| 西大條文一 (北新宿同仁斎メディカル CL) | 小林米幸 (小林国際クリニック) |
| 赤枝恒雄 (赤枝六本木診療所) | 尾上泰彦 (宮本町中央診療所) |
| 大國 剛 (大國診療所) | 大里和久 (大里クリニック) |
| 尾関全彦 (尾関皮膚泌尿器科) | 岩澤晶彦 (岩澤クリニック) |
| 保科眞二 (保科医院) | 上村茂仁 (ウィメンズクリニック・かみむら) |
| 吉尾 弘 (吉尾産婦人科医院) | 上村 哲 (上村病院) |
| 江畑貴文 (文化村通りクリニック) | 多和田俊保 (たわだ泌尿器科) |
| 立山啓悦 (ひろクリニック) | 山中 晃 (新宿東口クリニック) |
| 山口眞澄 (新宿山の手クリニック) | 大原宏樹 (池袋山の手クリニック) |
| 近藤真規子 (神奈川県衛生研究所) | 今井光信 (神奈川県衛生研究所) |

研究要旨

保健所における HIV 検査相談事業は 1987 年より開始されたが、近年、HIV 感染者数・患者数は増加傾向にあるのに対し、HIV 検査受検者数は減少傾向にあった。その理由として、これまで多くの保健所の HIV 検査日は平日に設定されており、また受検者が検査結果を聞くために 1-2 週間後に再来所しなくてはならないことが挙げられていた。このことから、民間クリニックおよび保健所等検査機関への「HIV 即日検査」の導入・支援を進めた。

民間クリニックへの即日検査の導入は、本年度は18ヶ所において実施した。検査実施クリニックの増設に伴い、2005年の検査数は12872件、陽性数は54件と、前年に比べ検査数・陽性数ともに増加した。また、クリニックの受検者に対するアンケート調査の結果では、受検者の約9割はホームページ「HIV検査・相談マップ」を見て受検しており、即日検査の実施と共に、継続的な検査情報の提供の必要性が確認された。

「保健所等におけるHIV即日検査のガイドライン」が厚生労働省より自治体、保健所等1155箇所配布された結果、保健所等検査機関での即日検査の実施は、2003年は試験的実施の1保健所であったが、2004年は15自治体51保健所等検査機関、2005年では44自治体144保健所等検査機関にまで増加した(2005年度：全国保健所549箇所)。また、保健所での検査数は、即日検査導入前の2002年と比較し、2005年では1.5倍の増加となり、また陽性数は、2005年は2004年より微減したが、高い水準で推移しており、2002年と比較し2005年では1.4倍の増加となった。即日検査機関の増設は検査希望者の増加につながるものと考えられることから、さらに実施機関の導入支援を進めていくと共に、今後は、課題として残されている即日検査陽性者への対応やHIV陽性者の医療への繋げ方、リスク低減に向けた予防へのアプローチ手段の開発等について早急に検討していく必要があると考える。

A. 目的

HIV 検査希望者にとって利便性が高く、より効果的なスクリーニング検査体制を構築することを目的として、民間クリニックおよび保健所等検査機関へ「HIV 即日検査」の試験的導入および行政的導入への普及・支援を行った。また、より多くの検査希望者に即日検査に関する情報を伝えられるよう、ホームページ「HIV 検査・相談マップ」上に情報の掲載を行い、その効果により波及すると思われる HIV 検査数等の年次動向を調査することによって、即日検査体制の有用性について検討を行った。

B. 方法

1. HIV 即日検査の実施状況

①民間クリニックへの即日検査の試験的導入

2001年5月からHIV検査に理解のある都市部の民間クリニックと連携して、即日検査の試験的導入を行った。2005年は、全国18ヶ所の民間クリニックで実施した(図1)。クリニックの検査数・陽性数の動向を調査するとともに、数箇所のクリニックでHIV検査に関するアンケート調査を実施した。

②保健所等検査機関への即日検査の導入支援

昨年度までの栃木県県南健康福祉センターにおける即日検査の試験的導入や江戸川保健所の行政事業導入における実施状況、実績等の紹介を行うと共に、即日検査実施機関で得られた知見を基に作成した「保健所等におけるHIV即日検査のガイドライン(第一版:平成16年3月、第二版:平成17年3月)」を配布し、保健所等検査機関の即日検査導入への普及・支援を行った。栃木県県南健康福祉センターと江戸川保健所については、実施状況を引き続き調査した。また、全国の即日検査実施機関をアンケートおよびインターネット等で調査し実施機関を把握すると共に、全国15自治体の研究協力機関からの検査数・陽性数を集計し、年次動向を調査した。

2. ホームページ「HIV 検査・相談マップ」での HIV 検査情報の提供

即日検査実施機関の情報をホームページ「HIV 検査・相談マップ」上に掲載し、協力検査機関でのアンケート調査から、当ホームページを見て来所した受検者の割合を調査するとともに、トップページや検査機関詳細情報ページのアクセス数を調査した。

C. 結果

1. HIV 即日検査の実施状況

①民間クリニックでの即日検査実施状況

今年度は18箇所の民間クリニックでの即日検査を実施し、検査数合計は12872検体、陽性数は54検体(陽性率0.4%)となり、検査機関の増設に伴い、前年に比べ検査数・陽性数ともに増加した。エイズ動向委員会報告による2005年の保健所等検査機関での検査数は約10万件、陽性数は331件であり、民間クリニック18カ所での検査数は、全国検査数の約8分の1、陽性数の約6分の1を占める割合に達した。陽性率は即日検査を開始した2001年からほぼ同割合で推移している(図2)。

2005年の検査数・陽性数を、「STDクリニック」および女性の感染不安者やCSWの定期検診が中心の「婦人科クリニック」で分けると、STDクリニックでは、検査数10969件のうち、陽性数が52件、陽性率は0.5%であり、男女別にみると、男性では検査数が8741件、陽性数が51件、陽性率が0.6%、女性では、検査数が2225件、陽性数が1件、陽性率が0.04%で、受検者の8割が男性で、陽性者もほとんどが男性であった。婦人科クリニックでは、検査数が1903件で、うち陽性が2件、陽性率は0.1%であり、男女別では、男性では、検査数159件中、陽性数が1件、陽性率は0.6%、女性では、検査数1744件中、陽性数が1件、陽性率が0.06%であった。この女性の2名についてはCSWではないとのこ

とであった(図3)。婦人科クリニックではこれまで陽性例は見られていないが、これらクリニックではCSWの定期受検例も多く、定点機関として今後も継続して動向を注視して行く必要があると思われる。また、2005年に5カ所のクリニックが新規に即日検査を開始した東京地区の実施状況を見ると、2004年は3カ所で検査数が4563件、陽性数が23件であったのが、2005年では8カ所で7562件、陽性数が40件となり、検査数、陽性数共に1.7倍の増加となった(図4)。このように検査機関を増設することにより、検査数や陽性数も増加する可能性があることが示唆された。

STDクリニック2カ所で実施したHIV検査に関するアンケート調査結果を示した。「保健所でHIV検査が無料で行われているのを知っていますか？」の問いに対しては、知っていると答えた人がそれぞれ、96%、89%と、ほとんどの受検者が知っている上でクリニックに検査を受けに来ていた(図5)。「HIV感染があったと思われる時期は？」については、1カ所では3ヶ月以内が24%、もう1カ所では、47%にのぼっており、感染機会からかなり早い時期に受検している人が多いことが分かった(図6)。このことから、かなりの人が早い時期から感染不安を抱いており、また実際に3ヶ月以内に受検している人も多いことが示唆されたことから、これまでの「感染機会から3ヶ月経ってから」の検査受け入れについて、より早い時期の検査受け入れを進めていく必要があると思われた。また、「この診療所が即日検査を実施していることをどこで知りましたか？」については、「HIV検査・相談マップ」から得た人が約8割を占めており、ホームページによる情報提供が有効に機能していることが分かったとともに、継続的な情報提供の必要性が確認された(図7)。

民間クリニックはHIV検査数・陽性数の動向把握のための定点機関として大きな役割を果たすと思われ、今後もクリニックとの連携

を強化していきたいと考えている。また、即日検査機関数が増加すれば、検査数・陽性数も増加することが示唆されたことから、今後さらに、クリニックにおける即日検査の導入を積極的に進めて行くとともに、そのためのクリニック向け即日検査ガイドライン等の整備も行っていきたいと考えている。

②保健所等検査機関での即日検査実施状況

保健所等検査機関への即日検査の導入を進めるために、昨年度までに「保健所等におけるHIV即日検査のガイドライン(第一版：平成16年3月、第二版：平成17年3月)」を作成し、厚生労働省より自治体、保健所、衛生研究所およびエイズブロック拠点病院の1155箇所ガイドラインが配布された(図8)。その結果、即日検査を実施している保健所等検査機関数は2003年では試験的実施の1保健所であったが、2004年は15自治体51保健所等検査機関、2005年では44自治体144保健所等検査機関にまで増加している(2005年度：全国549保健所)(図9)。また、15自治体の研究協力機関の集計数によると、保健所での検査数は即日検査導入前の2002年と比較し、2005年では1.5倍の増加(図10)、また、陽性数に関しては、2005年は2004年より微減したが、高い水準で推移しており、2002年と比較し2005年では1.4倍の増加となっている(図11)。全国で最初に即日検査を導入した栃木県県南健康福祉センターにおいては、HIV検査受検者数が即日検査導入前(平成14年)は130件であったのに対し、即日検査導入後(平成15年)には455件(3.5倍)に、さらに導入後2年目(平成16年)には814件(6.3倍)に増加し、導入後3年目(平成17年)は767件(5.9倍)となった(図12)。栃木県では2005年4月から県南保健所に加え、栃木県域の全ての保健所(全5箇所)に即日検査を導入したことにより、県南保健所の検査数は他保健所へ分散されると考えられていたが、それほど減少がみられず、他の保健所の検査数も検

査日の違いや予約の有無等の条件が各保健所で異なるが、1.1～2.0 倍の増加となっていた（図 13）（詳しくは、分担研究報告書“栃木県南健康福祉センターにおける即日検査導入の試み”一色ら 参照）。

また、江戸川区の保健所では即日検査導入前（平成 15 年）が 152 件であったのに対し、導入後（平成 16 年）は 1595 件（約 10 倍増）に増加し、導入後 2 年目（平成 17 年）は 1392 件（約 9 倍増）となり、周辺の自治体で即日検査が始まっているのにも関わらず、検査数の減少はあまり見られなかった（図 14）（詳しくは、分担研究報告書“江戸川保健所における HIV 即日検査の導入とその現状”小泉ら参照）。このことから、即日検査の実施機関が増加しても、従来から実施していた即日検査機関での受検者数の減少は見られず、新たな検査希望者の掘り起こしがされたと考えられ、即日検査機関の増加は検査希望者の増加につながるものと考えられる。今後、さらに実施機関の導入支援を進めていくとともに、即日検査実施のための研修体制についても検討していきたい。

2. ホームページ「HIV 検査・相談マップ」での HIV 検査情報の提供

HIV 検査に関する情報をより詳しく、より多くの人に提供することを目的としたホームページ「HIV 検査・相談マップ」

（<http://www.hivkensa.com>）を開設し、PC 版サイトおよび携帯版サイトにおいて、即日検査実施機関等の HIV 検査情報の提供を行っている。PC 版トップページのアクセス数解析では、2005 年 12 月の 1 日平均アクセス数は約 2000 件であり、開設から 4 年間で総アクセス数が 200 万件に達した。また 2005 年 1 年間の合計アクセス数は約 76 万件となった（図 15）。また携帯版サイトも 2005 年 12 月の 1 日平均アクセス数は約 1000 件と PC 版の 2 分の 1 に当たるアクセスがあり、また、開設から 4 年間で総アクセス数 30 万件となっ

ており（図 16）、当ホームページが HIV 検査情報を提供する媒体として非常に有効に活用されていることが分かった。

PC 版トップページにある 5 つのカテゴリー検索（保健所無料検査、夜間・土日検査、即日検査、NAT 検査、性感染症検査）のアクセス数では、「即日検査」、「夜間・土日検査」にアクセスが多く、また検査機関の詳細ページアクセス数を調べたところ、「都心」、「即日検査」、「夜間・土日検査」のいずれかの条件に当てはまっている機関にアクセス数が多いことが分かった（図 17）。受検者にとって利便性の高い検査機関に関心の高いことが分かり、これらのような検査機関の設置が望まれていることが伺えた。

より多くの方にホームページを知ってもらうための、講演会やイベント等での配布用の HP 紹介カードは、今年度は即日検査紹介カードの作成を行った（図 18）。

ホームページは継続して情報を提供する手段として非常に有効であり、HIV 相談検査事業の活性化については、ホームページ「HIV 検査・相談マップ」を用いての効果的な情報周知が有効であることが示唆された。今後も HIV 検査について網羅した、より実用性の高いホームページとなるよう、力を入れて行きたい。

D. まとめ

HIV 即日検査は全国的に実施検査機関が増加しており、検査希望者にとってより利便性の高い HIV 検査機会の提供に大きく寄与しつつある。しかし、新たに即日検査を開始する保健所が増加するとともに、より良い即日検査を提供していくためのバックアップ体制の整備は重要な課題である。保健所等無料検査機関における HIV 検査事業が効果的に実施され、またその一つの体制である即日検査が有効に機能するよう、今後も HIV 検査状況等の動向調査を継続し、即日検査導入の効果・問題

点等を解析し、検査機関を支援していきたい。

また、HIV 検査機関として有用な基幹となりうる民間クリニックにおいても、即日検査の導入を積極的に進めて行くとともに、そのためのクリニック向け即日検査ガイドライン等の整備も行っていきたいと考えている。

これまで、より利便性高い HIV 検査を目指して、HIV 即日検査の導入を進めてきた結果、受検者数の増加という目標は達成されつつある。しかし、即日検査陽性者への対応や HIV 陽性者の医療への繋げ方、リスク低減に向けた予防のアプローチ手段の開発等、課題も多く残されている。今後は HIV 検査相談機会の質的充実について、資材の開発や研修体制等、整備を強化していく必要があると考える。

論文発表

1. 嶋 貴子、一色ミユキ、近藤真規子、塚田三夫、潮見重毅、今井光信：保健所における HIV 即日検査導入の試みとその効果。日本公衆衛生雑誌。53 (3) ,167-177, 2006

学会発表

1. 嶋 貴子、今井光信：スクリーニング検査とその陽性時の検査の進め方。第 54 回日本医学検査学会 ビオメリューランチョンセミナー。2005 年 5 月 13-14 日（京都）
2. 嶋 貴子、近藤真規子、今井光信：即日検査のガイドラインの作成について。衛生微生物技術協議会第 26 回研究会。2005 年 7 月 7-8 日（福井）
3. 嶋 貴子、近藤真規子、須藤弘二、関田和代、永田明義、吉尾 弘、相楽裕子、今井光信：新しい抗原抗体同時検出キットの検討および HIV スクリーニング追加検査への応用。第 19 回日本エイズ学会学術集会・総会。2005 年 12 月 1-3 日（熊本）

マスコミ等での紹介

（新聞）

- * 神奈川新聞（平成 17 年 4 月 27 日）
市 HIV 即日検査へ

（横浜市即日検査実施紹介）

- * 読売新聞（平成 17 年 5 月 3 日）
エイズ即日検査（即日検査実施機関紹介）

- * 読売新聞（平成 17 年 5 月 25 日）
HIV とともに [7]

（「HIV 検査・相談マップ」アドレス紹介）

- * 毎日新聞（平成 17 年 6 月 29 日）
いいんですか HIV 感染検査目的の献血
（HIV 検査啓発）

- * 読売新聞（平成 17 年 7 月 9 日）
医療ルネサンス 増える性感染症 [5]

（「HIV 検査・相談マップ」アドレス紹介）

- * 神奈川新聞（平成 17 年 7 月 21 日）
県も HIV 即日検査へ

（神奈川県即日検査実施紹介）

- * 神奈川新聞（平成 18 年 1 月 15 日）
HIV 即日検査序所に浸透（即日検査紹介）

（雑誌）

- * 月刊 SAY（2005 年 9 月号）
（「HIV 検査・相談マップ」アドレス紹介）

- * B A d i（2005 年 12 月号）
（「HIV 検査・相談マップ」アドレス紹介）

- * モモコ（2005 年 11 月号）
（風俗系求人誌：「HIV 検査・相談マップ」
アドレス紹介）

（※マスコミ等での紹介は研究班で把握しているもののみ記載してあります。）

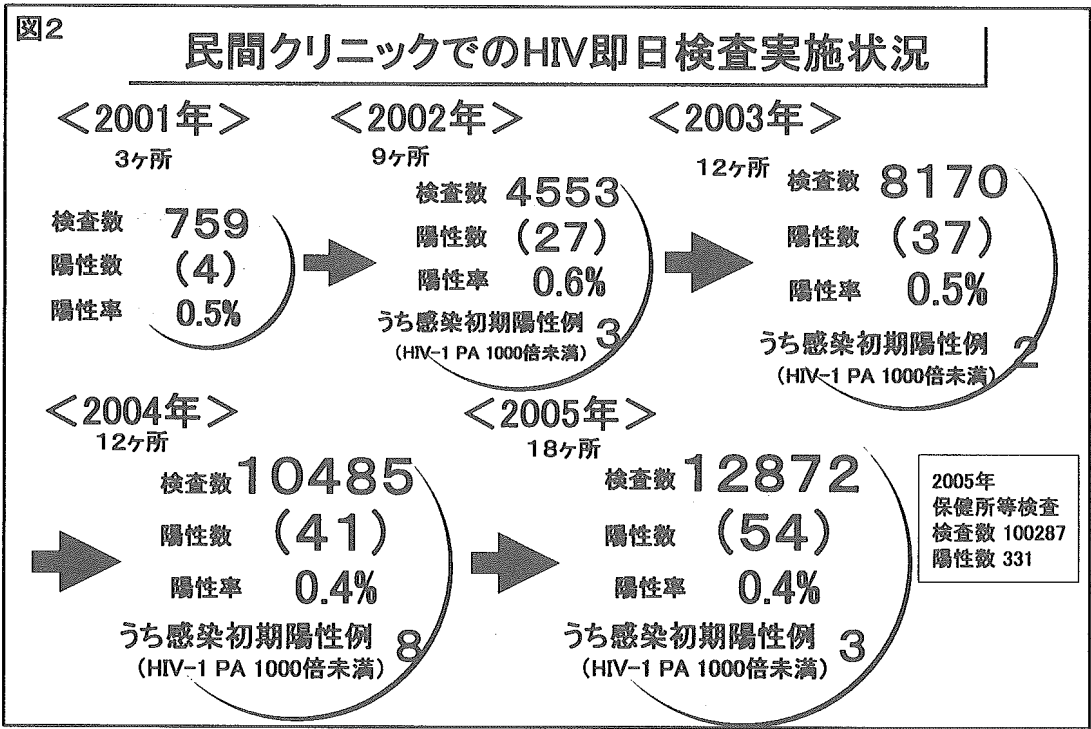
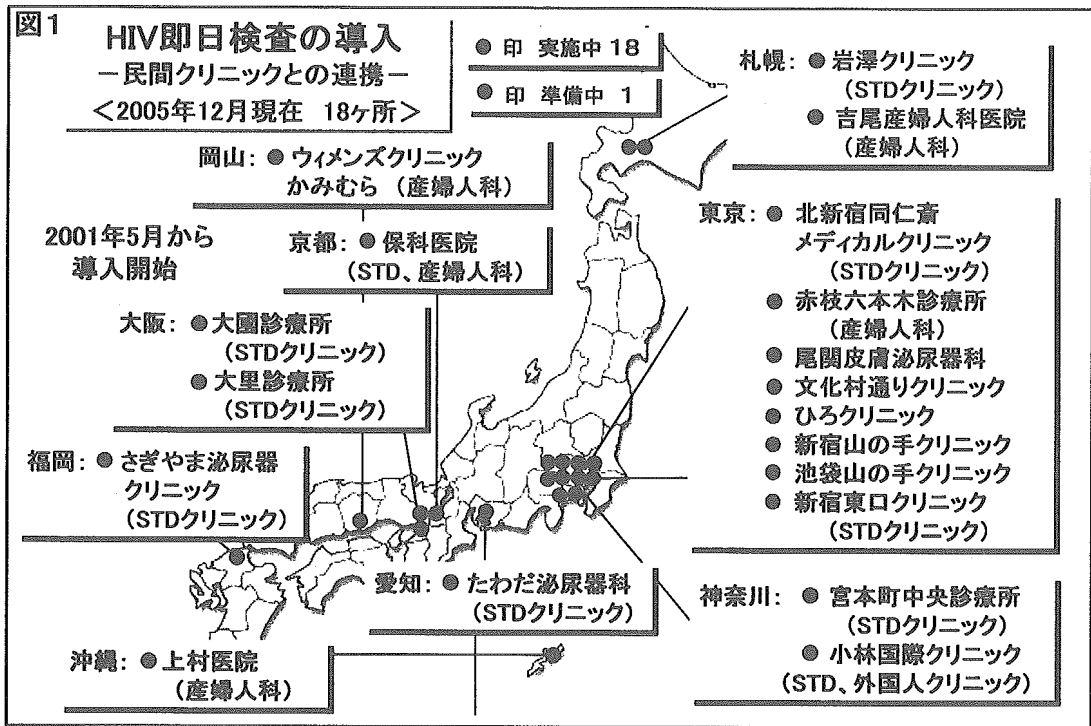


図3

民間クリニックでのHIV即日検査実施状況

2005年 18カ所のクリニックで実施

<2005年>

STDクリニック
(14ヶ所)

検査数 10969
陽性数 52
陽性率 0.5%

男性

女性

| | |
|-----|------|
| 検査数 | 8741 |
| 陽性数 | 51 |
| 陽性率 | 0.6% |

| | |
|-----|-------|
| 検査数 | 2225 |
| 陽性数 | 1 |
| 陽性率 | 0.04% |

婦人科クリニック
(4ヶ所)

検査数 1903
陽性数 2
陽性率 0.1%

男性

女性

| | |
|-----|------|
| 検査数 | 159 |
| 陽性数 | 1 |
| 陽性率 | 0.6% |

| | |
|-----|-------|
| 検査数 | 1744 |
| 陽性数 | 1 |
| 陽性率 | 0.06% |

<陽性者内訳>

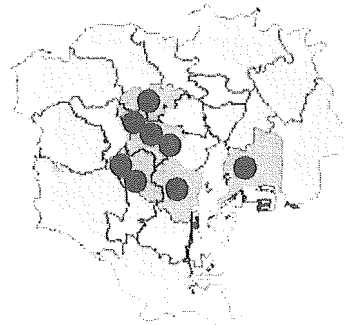
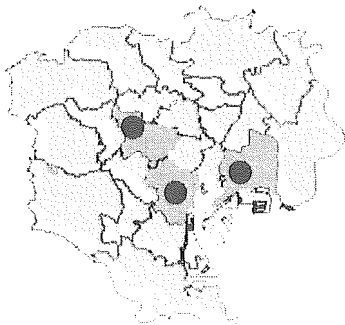
日本国籍 男性 49 外国籍 男性 3
女性 2 女性 0

図4

民間クリニックでのHIV即日検査実施状況(東京)

<2004年 3ヶ所>

<2005年 8ヶ所>



| | |
|-----|------|
| 検査数 | 4563 |
| 陽性数 | 23 |
| 陽性率 | 0.5% |

●●●▶
1.7倍

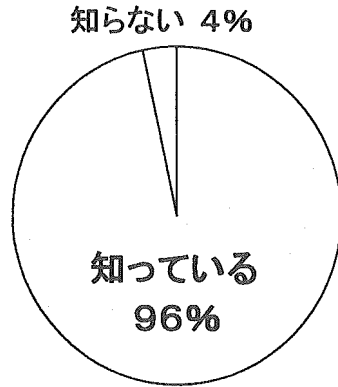
| | |
|-----|------|
| 検査数 | 7562 |
| 陽性数 | 40 |
| 陽性率 | 0.5% |

図5

HIV即日検査アンケート集計結果

Q. 保健所でHIV検査が無料で行われているのを知っていますか？

<尾関皮膚泌尿器科 2005年>
(回答者数:426名)



<北新宿同仁齋メディカルクリニック 2004年>
(回答者数:324名)

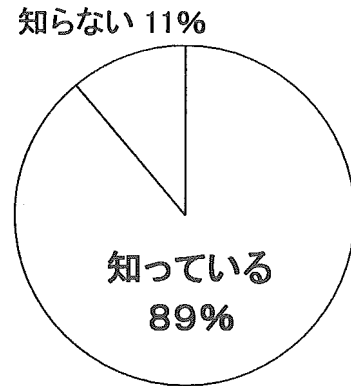
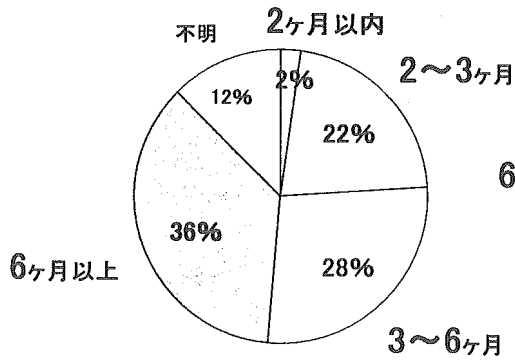


図6

Q. HIV感染があったと思われる時期は？

<尾関皮膚泌尿器科 2005年>
(回答者数:426名)



<北新宿同仁齋メディカルクリニック 2004年>
(回答者数:324名)

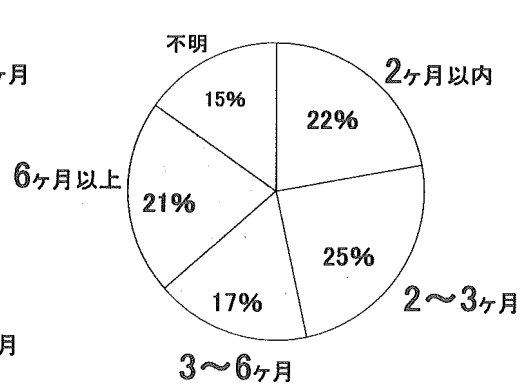


図7

Q. この診療所が即日HIV検査を実施していることをどこで知りましたか？

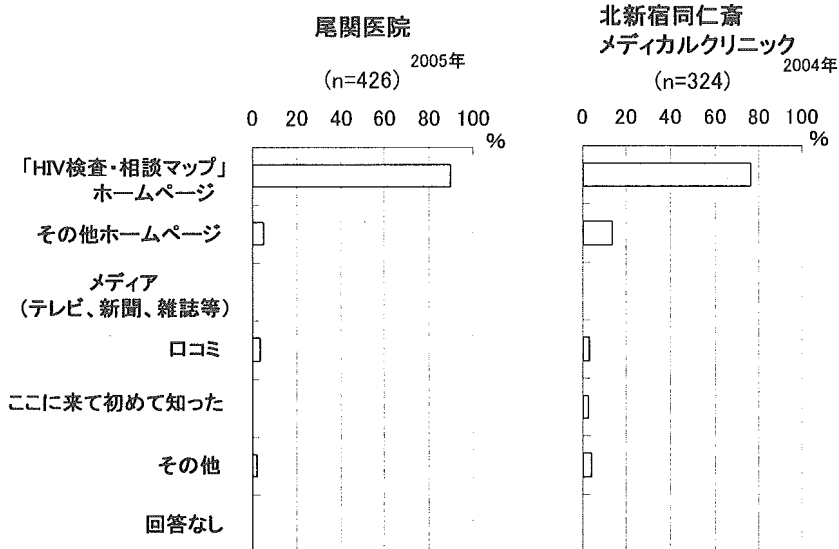



図8

 HIV検査体制の構築に関する研究班
The Study Group on the Development of HIV Testing Systems
http://www.hivkenes.com
主任研究者 今井 光彦 (神奈川県衛生研究所)

保健所等における HIV即日検査のガイドライン

第2版 (平成17年3月)

利用される皆様へ

本ガイドラインは、厚生労働省研究費助成による「HIV検査体制の構築に関する研究」等のガイドライン作成委員会が、平成16年度のガイドラインの改訂・相談部分の充実を計り、より実用的なガイドラインとなるよう平成17年3月に改訂した第2版です。
今後増補すると見られる即日検査実施機関の意見を反映させ、随時改訂版を作成し公表する予定です。

保健所等における HIV即日検査のガイドライン

第1版(平成16年3月)
第2版(平成17年3月)

<配布先>

- ◆ 都道府県、政令指定都市等
自治体HIV担当主管課
- ◆ 保健所
- ◆ 衛生研究所
- ◆ ブロック拠点病院 計 1155箇所

<即日検査研修会>

- ◆ 国立保健医療科学院 エイズ対策研修
- ◆ エイズ予防財団 HIV検査相談研修
- ◆ 神奈川県、北海道、埼玉県等自治体
- ◆ 国立病院機構九州医療センター

図9

保健所等におけるHIV即日検査の普及

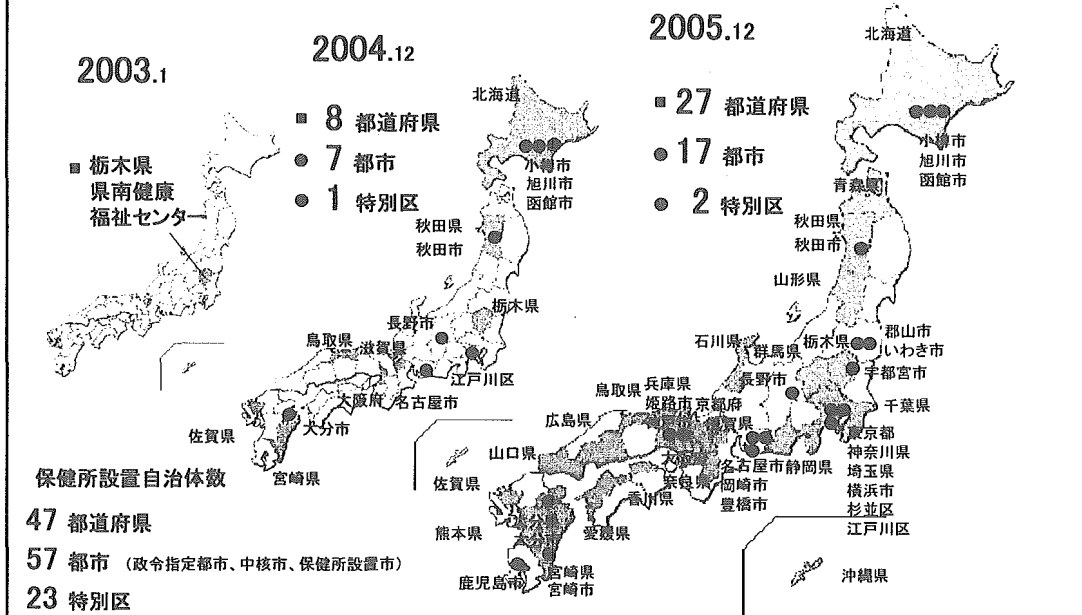


図10

保健所等無料HIV検査の検査数

(15都道府県) (1988~2005年)

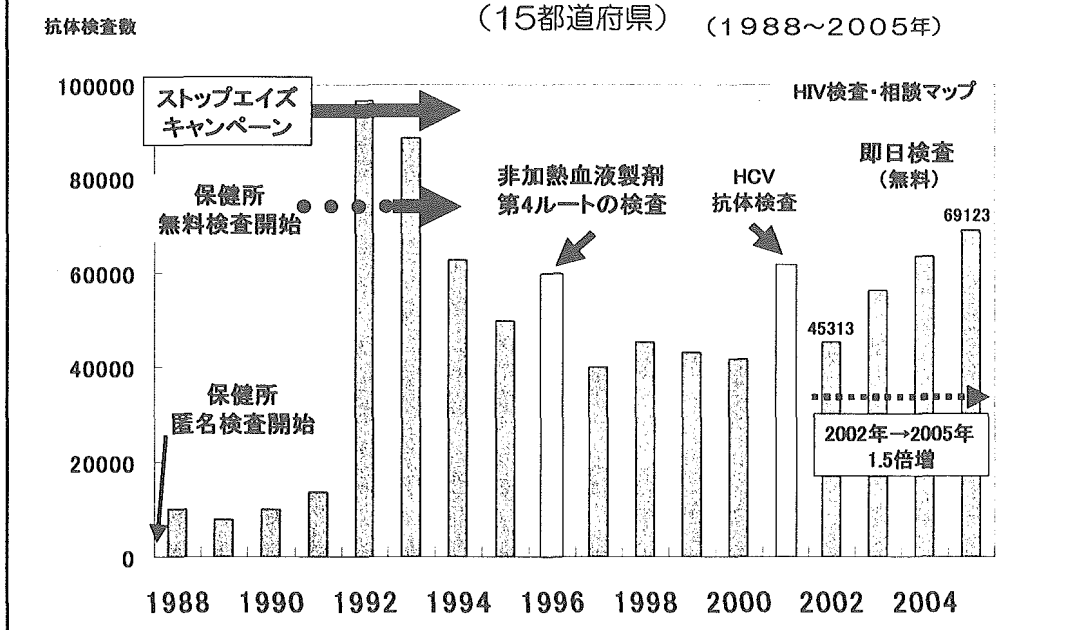


図11

保健所等HIV無料検査における陽性数の推移 (15都道府県)

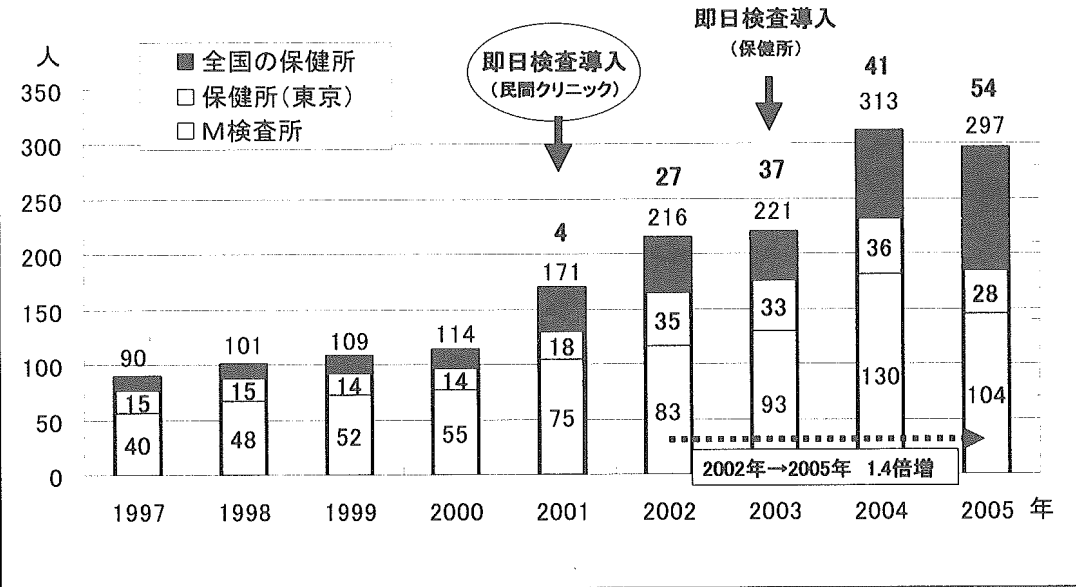
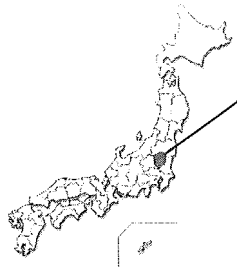


図12

保健所HIV検査への即日検査の導入 (栃木県県南保健所)



2003年1月から
栃木県県南健康福祉センター
(県南保健所)

毎週水曜日 13:00~14:00

* 性感染症検査
梅毒抗体検査 即日結果返し
クラミジア抗体検査 10日後結果返し

<2002年>
通常検査のみ
通常検査数 130
HIV陽性数 1

<2003年> 3.5倍
即日+通常検査数 453
うち即日検査数 404
HIV陽性数 1 (0.2%)
偽陽性数 4 (1.0%)

<2004年> 6.3倍
即日+通常検査数 814
うち即日検査数 787
HIV陽性数 3 (0.4%)
偽陽性数 20 (2.5%)

<2005年> 5.9倍
即日検査のみ実施
栃木県域4保健所でも開始
即日検査数 767
HIV陽性数 2 (0.3%)
偽陽性数 9 (1.2%)

図13

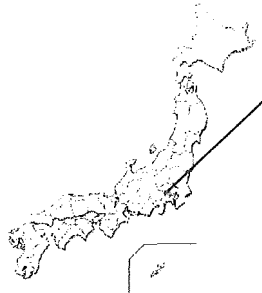
栃木県保健所におけるHIV検査数の比較

| | | 2002年 | 2003年 | 2004年 | 2005年 | 2005年度 検査日 | 予約の有無 |
|-----|--------------|-------|-------|-------|-------|---------------|----------------|
| 栃木県 | 県南健康福祉センター | 130 | 453 | 815 | 767 | 毎週 | 予約なし |
| | 健康福祉センター他4箇所 | 255 | 221 | 259 | 378 | — | — |
| | 県西健康福祉センター | — | 47 | 49 | 73 | 毎週 | 予約なし |
| | 県東健康福祉センター | — | 35 | 41 | 72 | 月1回 | 予約なし |
| | 県北健康福祉センター | — | 52 | 56 | 112 | 毎週 | 予約制 (6名まで) |
| | 安足健康福祉センター | — | 87 | 113 | 121 | 月2回 | 予約制 (15名まで) |
| | 宇都宮市保健所 | 508 | 503 | 474 | 528 | 毎週 | 予約制 |
| 全国 | 全国保健所HIV検査数* | 49429 | 59237 | 68774 | 80899 | — | — |

*2005(平成17)年エイズ発生動向年報「保健所等におけるHIV抗体検査件数」より引用

図14

保健所HIV検査への即日検査の導入 (江戸川保健所)



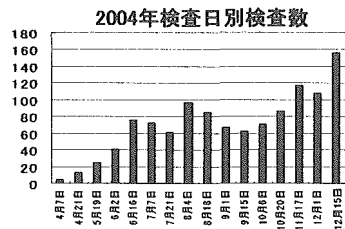
2004年4月から (5月から広報)

江戸川保健所

第1、3水曜日

14:00~16:00 (受付)

* 性感染症検査
クラミジア抗体検査 1週間後結果返し



| | | | | | |
|------------------|-----|------------------|----------|----------------------|----------|
| | | <2004年度> 計22回 | | <2005年4月~2月> 計20回 | |
| | | 即日+通常 検査数 | 1595 | 即日+通常 検査数 | 1273 |
| <2003年度> 計24回 | | 1回当たり平均 | 72.5 | 1回当たり平均 | 63.7 |
| 通常検査数 | 152 | うち即日検査数 | 1460 | うち即日検査数 | 1179 |
| 1回当たり平均 | 6.3 | HIV陽性数 | 4 (0.3%) | HIV陽性数 | 4 (0.3%) |
| HIV陽性数 | 0 | 偽陽性数 | 6 (0.4%) | 偽陽性数 | 6 (0.5%) |

12倍 →

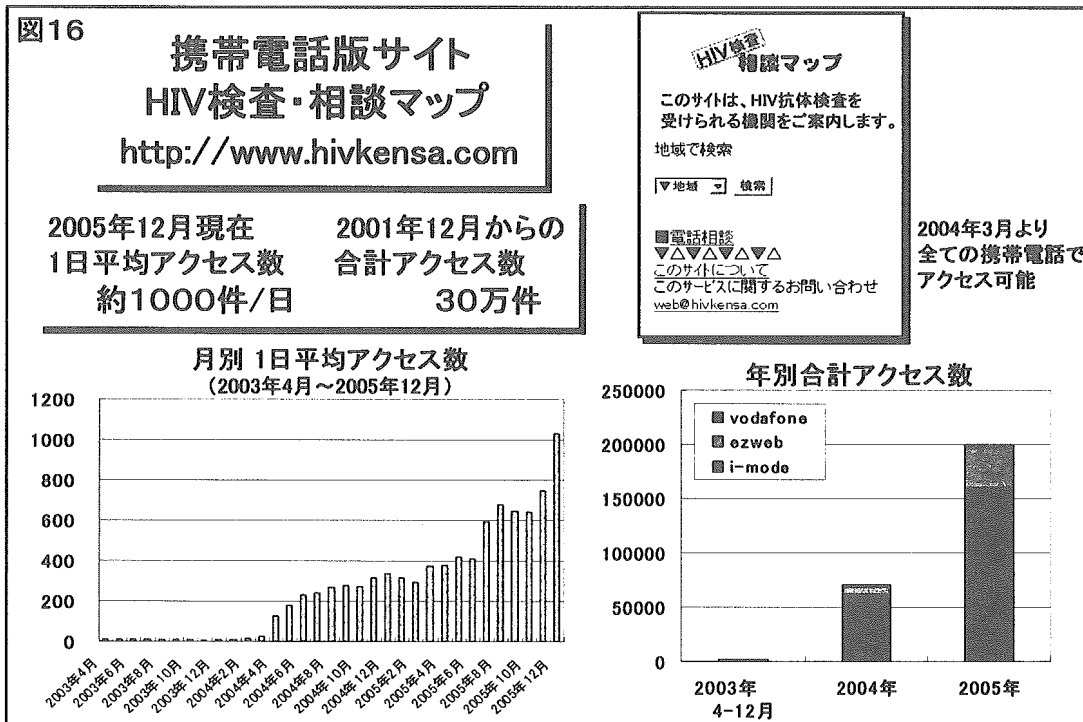
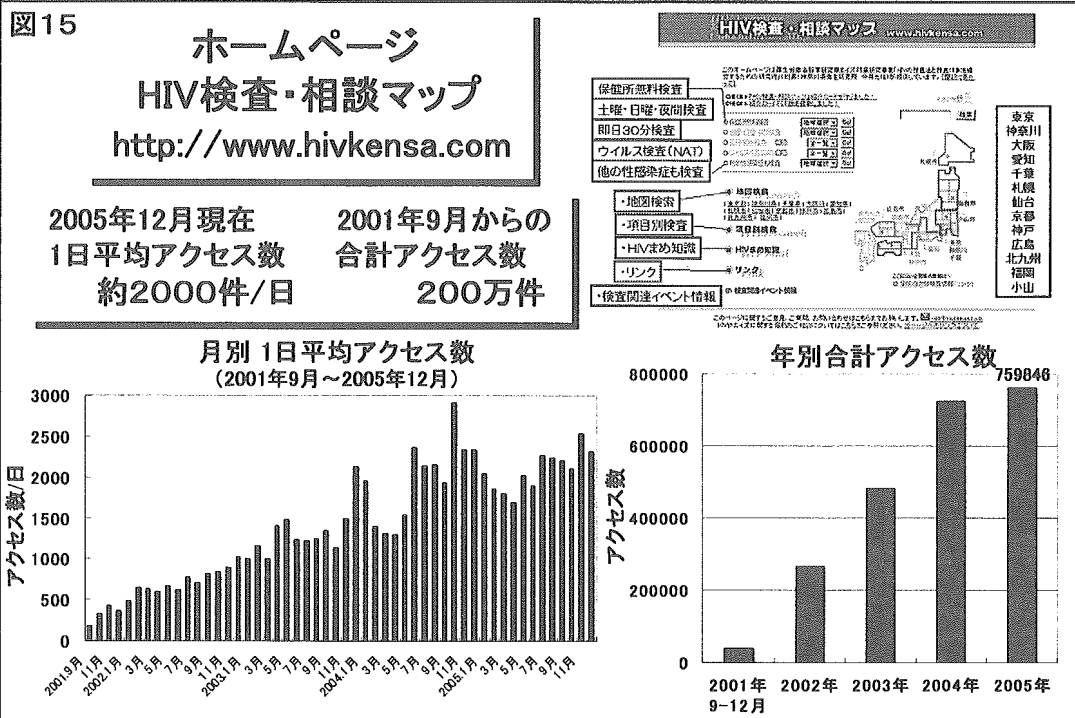
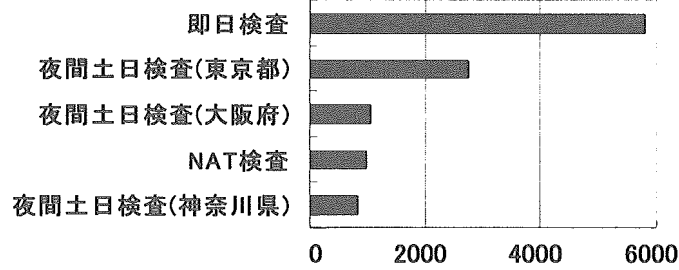


図17

各カテゴリーへのアクセス数 (2005年12月分)



詳細ページアクセス数 (2005年12月分)

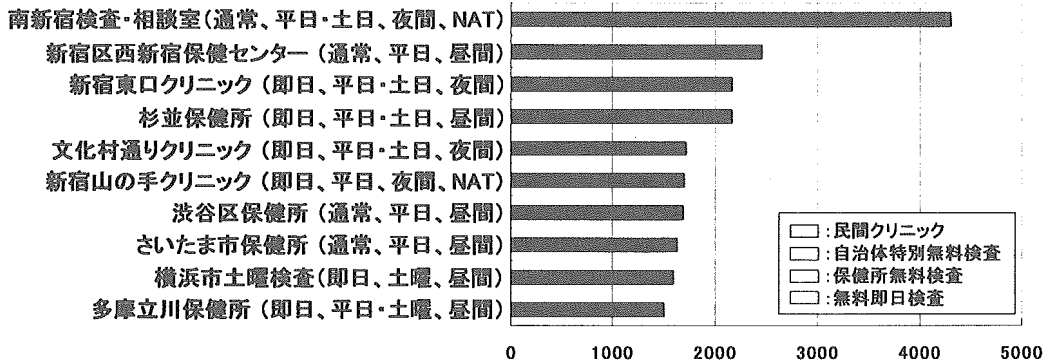
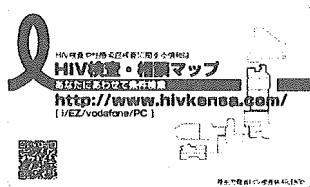


図18

HIV検査・相談マップ紹介カード



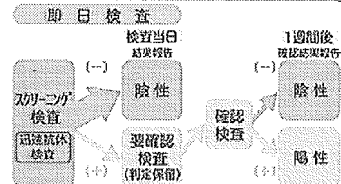
<即日検査紹介カード>

HIVまめ知識

“HIV即日検査”もやっています。

即日検査とは、迅速検査キットを用いて、検査当日にスクリーニング検査結果をお知らせする検査法です。

HIV抗体迅速検査キットは、通常の抗体検査キットとほぼ同じ性能ですが、あくまでスクリーニング検査法の一つです。迅速検査で陰性の場合には、結果は陰性として確定します。しかし、迅速検査で陽性の場合には、異なる方法を用いた確認検査が必要となります。そのため、後日(通常1週間後)、改めて確認検査の結果を聞きに行くことが必要となります。



即日検査に関する詳しい検査情報等は...

<http://www.hivkensa.com>

A-2. 栃木県県南健康福祉センターにおける即日検査と新たな試み

一色ミユキ 丸山正博 塚田三夫 潮見重毅（栃木県県南健康福祉センター）
嶋 貴子 今井光信（神奈川県衛生研究所）

研究概要

当センターにおける HIV 即日検査は、導入後 3 年を経過した。平成 17 年度栃木県内全保健所においても導入された。判定保留者に対する対応や性感染症の受検者の減少、結果未通知者の増加が問題となっている。

これらの問題を解決する方法として、追加検査を導入した。また性感染症検査及び通知方法について検討した。

2003 年 1 月から導入した即日検査は 3 年を経過した。現在の体制は、問診に保健師等 3～5 名、採血に看護師 1 名、検査に臨床検査技師 1 名、結果通知に感染症予防担当職員 2 名となっている。（図 1）

3 年間の即日検査数は 1,957 件で、38 件がスクリーニング検査陽性となった。確認検査の結果 6 件が陽性、32 件が偽陽性例と判定された。検査数は、導入前に比べ 2003 年は 3.7 倍、2004 年は 6.6 倍と増加したが、2005 年は即日検査が各自治体等で導入されたためか若干減少した。2005 年 4 月から栃木県内の全保健所においても即日検査が導入され検査数は増加している。（図 2）

HIV 検査と同時に梅毒と性器クラミジア抗体検査を受け付けている。即日結果通知の梅毒受検者は、導入前後で変化はないが、翌週金曜日通知のクラミジア抗体受検者は半減した。

（表 1）クラミジア抗体の結果通知者割合は、導入前は 100%であったが、約 6 割に留まっている。（表 2）

即日検査は、受検者の増加は期待できるが、それに伴い対応する人員や部屋の確保が必要となる。また、偽陽性率が高く確認検査結果が出るまでの支援が必要な受検者も多い。他

の性感染症の受検者、結果通知者数の減少についても工夫が必要である。（図 3）

これらの問題を解消するために、新たに検査等を実施した。（図 4）まず、追加検査として抗原抗体同時検査を導入した。1 検体ずつの検査が可能であり、2 時間後判定のバィタス HIV デュオを用いた。仏クロマト法陽性検体 10 件について実施し、確認検査陽性の 2 件を除き陰性となり当日に結果が通知できた。（図 5）

検査希望者が減少したクラミジアについて、男性初尿を検体とした仏クロマト法による抗原検査（即日検査）を 113 件実施した。（図 6）全ての検体について保健環境センターにおいて PCR 法による確認検査を実施した。クラミジア感染既往と思われる 13 件を含む約 9 割が抗原陰性であった。仏クロマト法陽性例は全て PCR 法についても陽性であった。2 例が仏クロマト法陰性、PCR 法陽性となった。女性についても 11 月から自己採取による膣分泌物を検体として抗原検査を実施したが、抗原陽性例はなかった。（表 3）

クラミジア抗体検査の結果未通知を減少させる方法として、電話による通知を実施した。遠方からの受検者等来所が困難な場合、受検番号・年齢・暗証番号等により個人を識別し、